

## 令和元年度(2019年度) 事業計画

新年度に入り、5月1日新元号が「令和」となった。英訳では、「Beautiful Harmony」(美しい調和)とのことだが、世界経済では、米中の覇権争いが激化、貿易戦争の様相を呈してきており、しばらくは美しい調和からはほど遠い不安定な状況が続きそうだ。

国内経済もそのあおりを受け、令和相場は日経平均株価の暴落で始まり、先行きが見通せない幕開けとなった。

3月の景気動向指数で内閣府がおよそ6年ぶりに基調判断を「悪化」へと下方修正したこともあり、景気後退への懸念が一層広がっている。

しかし、下を向いてばかりいられない。去る4月11日、12日に新潟で開催となった第32回全国経済同友会セミナー(以下、全国セミナー新潟大会)では、この厳しい環境をイノベーションチャンスと捉え、反転攻勢する真摯な気概と行動力を示さなければいけない、と熱く議論が交わされた。日本経済の底力発揮に期待したい。

人口減少問題など様々な課題を抱える県内経済も、同様に奮起することが求められており、その中心で新潟経済同友会が存在感を益々発揮する年度としたい。

令和元年度も新潟経済同友会は、14の委員会と1つの研究会で、先見性に富み、行動力・発信力を伴った活動を計画している。

教育問題委員会、広域交流委員会の2つの委員会において、新たな委員長が誕生することとなり、これまでの充実した活動を礎に、新鮮な企画運営にも期待がかかる。

各委員会の活動方針・テーマは、昨年度に引き続き「地方創生(循環型社会)への成長戦略」「人口減少・少子高齢化時代への対応」「AI・IoT等先進技術の活用」「国際化・交流人口の拡大」など、ポスト平成の新時代を展望した内容が盛り込まれ、社会経済の構造が大きく多様に変化するなかで、それぞれの方針・テーマに沿って、課題解決、目標達成に向け充実した委員会活動を展開していく。

主な委員会活動としては、4月の全国セミナー新潟大会に続き、今年度当会が主管となる4経済同友会交流会(新潟・群馬・埼玉・栃木)が開催される。本交流会は、広域交流委員会が昨年より内容検討を進めてきており、この10月に燕三条で開催される「工場の祭典」を企画に取り入れ、新潟のモノづくりを発信していく予定である。

また、成功裡に終えた全国セミナー新潟大会の総括となる記録報告書の制作や決算などの作業も同セミナー実行委員会が引き続き担当する。

視察では、国際戦略委員会が7月に「北米 シアトル・バンクーバー」の海外ミッションを計画。シアトル近郊で創業し、いまや世界的な巨大企業に成長したアマゾン、マイクロソフト、スターバックス、コストコ、そしてボーイング社などを視察し、地方都市拠点化のヒントを探る。

起業家支援研究会では、国家戦略特区創業特区で、IT関連企業、スタートアップ企業が続々と集結しつつある福岡市の魅力と関連施設の視察研究を予定している。

各委員会とも、新潟の経済活性化に資する活動や示唆に富む行事を計画している。

新年度新潟県では、4月の全国セミナー新潟大会を皮切りに、5月にはG20新潟農業大臣会合が開催され、9月から11月に国民文化祭・障害者芸術文化祭、そして10月から12月にかけては新潟県庄内エリアデスティネーションキャンペーンが予定されており、国内外への本県の魅力発信に絶好の年となる。

新潟経済同友会も、委員会活動を軸に新潟県経済のさらなる発展・活性化に向け様々な形で協力しながら、着実に成果を残して参りたい。

# I. 委員会活動

---

令和元年(2019年度)は、14の委員会と1つの研究会でそれぞれのテーマについての調査・研究を重ね、随時積極的なシンポジウムの開催、並びに提言活動を行う。

また、各委員会では提言した内容について関係機関に対し、その実行と協力を求めるなど適切にフォローアップを行い、加えて自らも実践して提言の実現を目指した活動を行う。

## 1. 一般行政委員会

**委員長 村山 政文 (株)村山土建・社長**

---

### 【方針】

人口減少や東京一極集中が進むなか、各地方自治体は地方創生に向けた取組を進めている。それを確かなものにしていくためには、時代の変化に対応した特色のある施策の実施や官民協働による地域づくりが不可欠であることから、今の時代に求められる地方自治体の施策について調査、研究を行っていく。

【テーマ】地方創生（循環型社会）に資する行政施策の研究

## 2. 地域委員会

**委員長 金井 利郎 (金井度量衡(株)・社長)**

---

### 【方針】

新潟地域の飛躍的生産性向上が、人口減少時代における地方創生の課題である。地域産業の活性化、地方への移住・定住促進、交流人口の拡大など、様々な角度からのアプローチが求められているが、地域の総力を挙げて、新たな未来を切り開き、魅力ある新潟を創っていかねばならない。

地域委員会では、AI、ICT等の先進技術の活用や、地域資源を活用した魅力あるまちづくりなど、新潟の生産性向上に向けた取組について調査・研究を行っていく。

加えて、新潟市国家戦略特区（農業特区）については、共同提案者として引き続き積極的に連携・参画を図っていく。

【テーマ】新潟地域の飛躍的生産性向上に向けて

## 3. 環境・健康委員会

**委員長 大矢 和也 (社会保険労務士法人 大矢社労士事務所・代表社員)**

---

### 【方針】

少子高齢化に伴う人手不足が深刻化するなかで、企業が生産性の向上や組織の活性化を目指す健康経営や働き方改革に取り組む意義は深まっている。従業員への健康投資や働きやすい職場づくりの推進に向けて、行政・関係団体と協力・連携し、データヘルスなどの調査研究を進める。

【テーマ】地域職域連携による企業価値の向上に資するヘルスケアの研究

#### 4. エネルギー委員会

委員長 野沢 慎吾 (セコム上信越(株)・会長)

---

##### 【方 針】

安全保障の観点などから、既存エネルギーと新エネルギーのバランスの取れたエネルギーミックスを実現することが重要である。

加えて、新潟県の現状を踏まえた上で将来に渡り持続可能な発展を目指すため「ゼロ・エミッション社会」についても研究を進めていく。

【テーマ】 エネルギーミックス、ゼロ・エミッション社会の研究

#### 5. 企業経営委員会

委員長 北村 芳明 (株雅裳苑・社長)

---

##### 【方 針】

労働人口の減少やテクノロジーの進化、グローバル化によって社会構造が大きく変化し、企業の抱える経営課題も複雑化・高度化している。山積する諸課題の調査・研究を重ねることで、持続的な企業価値の向上を目指していく。

また、産学連携の観点から主に県内大学の研究者を招き、ネットワークの構築を推進していく。

【テーマ】 企業経営を巡る諸課題の研究

#### 6. 国際戦略委員会

委員長 宇尾野 隆 (株ウオショク・社長)

---

##### 【方 針】

北東アジアをはじめとした諸外国等との人的交流、経済交流の活性化に向けて、現存する国際間の諸問題を越えた相互理解を深め、新潟の成長戦略に繋げるため、本県の地勢的優位性を活かした拠点性向上をさらに促進する。

そのため、行政、国際関連団体、メディア、そして駐在公館などの関連機関と緊密に接触、連携を図り、タイムリーな国際情報の掌握に努めるとともに、高い拠点性を有する海外先進都市の研究・視察等を通じ、積極的な国際戦略の策定に寄与する。

<行事予定> 海外ミッション「北米 シアトル・バンクーバー」

【テーマ】 新潟の経済成長戦略を踏まえた拠点性の一層の確立

#### 7. 教育問題委員会

委員長 阿部 尚義 (株阿部建設・社長)

---

##### 【方 針】

少子高齢化・人口減少・社会のグローバル化による社会経済の構造的変化や雇用の多様化が進む中、明日の日本を支える国際的な視野を備えた人財を育成するために産官学で協力して「キャリア教育」について調査・研究を行う。

また、「出前授業」や「新潟大学創生学部フィールドスタディーズ」について広く周知し、会員自らが率先してキャリア教育の一助を担う活動を展開していく。

また、人財育成の最前線に立つ教職員の「働き方」についても研究を進める。

【テーマ】 次代を担う人財の育成を考える

## 8. 例会担当委員会

委員長 片桐 奈保美 (㈱イシカワ・副社長)

---

### 【方 針】

行政トップや企業経営者・有識者および当会会員をお招きし、各界の皆様と交流の機会を深める場とするだけでなく、会員同士(OB含む)のネットワークづくりを目指していく。

## 9. 会員交流委員会

委員長 富山 修一 (中央ビルディング㈱・会長)

---

### 【方 針】

2019年全国経済同友会セミナー新潟大会終了後の会員の慰労を行うとともに、会員相互の交流を促進し、会員400名の目標を達成すべく引き続き会員増強に努める。また、オリエンテーション等の機会を活かして活動をPRし、委員会活動への積極的・継続的な参画を促していく。

<行事予定>

- ①新入会員・交替会員のための「オリエンテーション」 令和元年 6月11日(火)  
令和元年 11月 5日(火)
- ②会員増強と会員交流のための「納涼会」 令和元年 8月26日(月)
- ③会員交流懇親会「新潟の食を楽しむ会～晩秋の新潟・温石に和む～(忘年会)」  
令和元年 11月 5日(火)

【テーマ】 会員増強と会員相互の交流促進

## 10. 広域交流委員会

委員長 石田 章 (新日工業㈱・社長)

---

### 【方 針】

経済・産業・観光等多角的観点で、近隣経済同友会(群馬・埼玉・栃木)との交流・絆を深める。また、全国および地方ブロックのセミナー等へ積極的に参加し「新潟の元気」を各地に発信するとともに、本年度主催する「4 経済同友会交流会」の成功を目指す。

【テーマ】 県域を越えた経済同友会との交流を通し、「新潟の元気」を発信

## 11. 成長戦略委員会

委員長 木山 光 (木山産業㈱・社長)

---

### 【方 針】

第4次産業革命により社会構造が急速に変化していく中、現状を的確に捉え、技術革新がもたらすこれからの社会を想像することが新潟の成長にとって重要である。

また、人口減少という新潟が直面する最大の課題を解決するためにも、AI や IoT などの最先端技術の利活用について、引き続き研究を深めていく。

【テーマ】 10年後、20年後の社会を想像し、新潟の成長に向けて行動する

## **起業家支援研究会**

**座長 木山 光 (木山産業㈱・社長)**

---

### **【方 針】**

新潟に創業が次々と湧き起こるためには、起業家教育や起業を志す人々のネットワークが重要である。新潟県が新たに立ち上げた「起業家サポートネットワーク」に積極的に参画するとともに、県が整備に取り組む「創業支援プラットフォーム」への協力を強め、官民一体となり、起業マインドの醸成、創業支援体制の強化に引き続き取り組んでいく。

また、起業家を育成するためのメンターの重要性、企業内起業についても引き続き研究を深めていく。

**【テーマ】** 「新潟版創業エコシステム」の実現に向けて研究を深める

## **12. インフラ推進委員会**

**委員長 渡辺 敏彦 (学新潟総合学園・副理事長)**

---

### **【方 針】**

新潟の日本海側における拠点化及び魅力向上のために必要なハードインフラの整備に焦点をあて、産業集積や観光振興を踏まえた関係行政機関との勉強会を開催するなど、インフラの有効活用による地域経済発展に向けた調査研究を行っていく。

また、冬季オリンピック・パラリンピックの2030年新潟開催を目指し、提言の具体化に向けたフォローアップの方法論を検討する。

**【テーマ】** 鉄道・空港・港湾機能の連携による物流・人流、防災・救援機能及び産業競争力の強化と新潟の魅力向上

## **13. 観光推進委員会**

**委員長 高橋 秀之 (愛宕商事㈱・社長)**

---

### **【方 針】**

政府は観光を成長戦略と地方創生の大きな柱として2020年訪日外国人旅行者「4,000万人」という目標を掲げ、様々な施策によって「観光先進国」の実現に向けて着実に歩みを進めている。しかし、新潟県には様々な観光資源がそろっているにもかかわらず、外国人誘客に関してはいまだ十分ではなく、隣県の後塵を拝している。かかる状況下、諸課題について分析・研究し、インバウンドの拡大や県内観光の再発見・再認識を含めた交流人口拡大、観光戦略の検討を進めていく。

**【テーマ】** インバウンド促進と交流人口拡大に向けた観光戦略の検討

## **14. 全国経済同友会セミナー実行委員会**

**委員長 吉田 至夫 (㈱新潟クボタ・社長)**

---

### **【方 針】**

第32回全国経済同友会セミナー 新潟大会(2019年4月)も無事終了し、実行委員会の役割を終えた。今後は、報告書制作など残された業務を行う。

以上